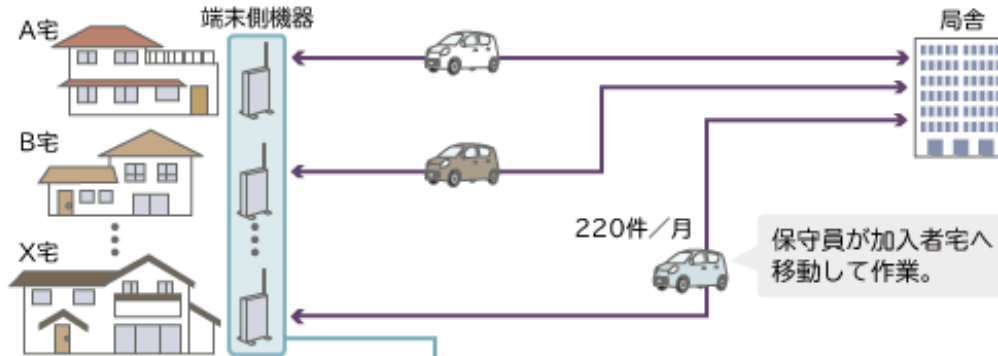


# vCPE 環境負荷評価モデル

端末側機器を仮想化し局側に集約することで使用電力を削減し、ネットワーク側からの遠隔診断が可能になるため 保守員の移動を削減できます。

## vCPE システム導入前

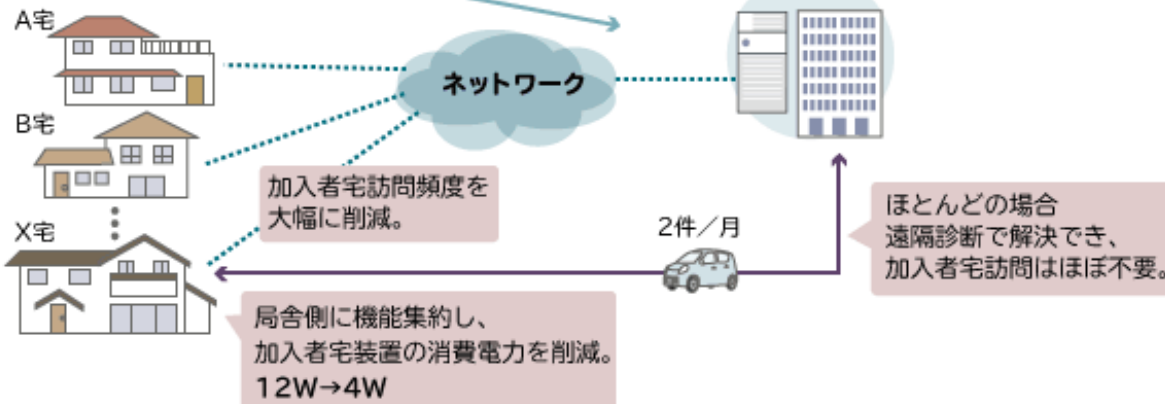
加入者からの申告のうち、ある一定の割合で保守員が加入者宅へ出かけて保守。



- 従来システム：3.8kW 常時稼働
- 加入者宅内装置：12W×40,000台 常時稼働
- ネットワーク利用：25MB/日
- 保守者移動：往復100km 220件/月

## vCPE システム導入後

局舎から遠隔で診断を実施。



- vCPEシステム：2.9kW 常時稼働
- 加入者宅内装置：4W×40,000台 常時稼働
- ネットワーク利用：25MB/日
- 遠隔診断機器使用：0.5kWh/件 220件/月
- 遠隔診断NW利用：0.5MB×220件/月
- 保守者移動：往復100km 2件/月

## vCPE 環境負荷評価結果

加入者当たりの消費電力および保守員の移動を削減。  
⇒ CO<sub>2</sub>排出量を50.9%削減

